

現状・課題

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びである「令和の日本型学校教育」を実現するためには、それを担う教師が、学校を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通して探究心をもって自律的かつ能動的に新しい知識・技能を学び続ける「新たな教師の学びの姿」を実現することが重要である。

このように、教師の学びである教員研修の充実が求められる中で、教職員支援のナショナルセンターとして、早急にEdTechなども活用した研修環境のDX化を進めることが必要となっている。

また、喫緊の課題である教師不足の解消に向けて、同機構が広く一般社会から教師への道を開くために行っている「教員資格認定試験」は非常に重要な施策の一つであることから、さらにその充実を図る必要がある。

事業内容

● 教職員研修の拠点強化

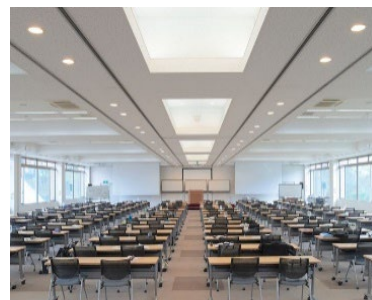
EdTechなども活用して、ICT関連機器やアクティブラーニングに対応した整備を行い、探究的な研修やGIGAスクール構想等に対応した最先端の研修環境を整備する。

- ・インタラクティブな講義・演習環境の整備
- ・最先端ICTを活用したアクティブ・ラーニング環境の整備
- ・講師や参加者の発話記録等を行い、研修中の気づきや変化を可視化することができるAI機器等の整備 等

● 教員資格認定試験オンライン出願システム導入事業

現在、同試験の出願手続きは、未だ郵送により行っていることから、受験者の利便性向上、ヒューマンエラー防止、事務効率化等の観点から、オンライン出願システムの導入を図る。

現状（講義型の研修室）



構築後（DX化した研修環境）



アウトプット（活動目標）

探究的な研修やGIGAスクール構想等に対応した最先端の研修環境の整備

教員資格認定試験オンライン出願システムの導入

アウトカム（成果目標）

探究的な研修やGIGAスクール構想等に対応した最先端の研修の実施

教員資格認定試験出願者の利便性向上等

【スキーム図】

